青春 くるーずあっぷ

津別の人の温かさを感じています

馬渕　春菜　さん

まぶち　はるな　さん／昭和６２年５月生まれ／津別町出身／網走信用金庫津別支店に勤務／豊永

「いつもありがとうございます。網走信用金庫でございます。」と明るく和やかな印象を受ける電話応対をしてくれるのは今年４月より網走信用金庫に勤務する馬渕さん。出身は津別で、中学・高校とバレー部で過ごし、大学は旭川大学女子短期大学部に進学。この仕事に就いた理由は「元々あった銀行への憧れと、高校・大学と飲食業で接客のアルバイトをしていたので、そこで人との関わりの楽しさを知りました。だから地域密着型で人と関わりが強い信金を希望しました。その中でも偶然津別の信金が募集していて受けてみたら採用されました」（笑）

現在の仕事は預金や小切手の入金や出金、定期預金などの処理を担当。「お客様から声を掛けてもらったり、名前を覚えていただいたりして、町の方たちの温かさを感じます」と社会人１年生となった感想を話してくれました。

料理やお菓子づくりが好きという馬渕さん。今は「お金を貯めて旅行にも行きたいですね」と笑顔が印象的でした。

健康いきいき

麻しん・風しんの予防接種を受けましょう

～麻しんが流行しています～

昨年春から10代、20代の方を中心に麻しんが流行しています。北海道においても中学、高校、大学などの休校が相次ぎました。また北見市内の医療機関からも今年５月14日現在、27人の発生届けが出ています。

◎「麻しん」とはどんな病気

麻しんは、一般的には「はしか」と呼ばれるウイルス性の感染力の非常に強い感染症です。患者の咳やくしゃみなどによる空気感染や、接触感染により人から人へと感染します。免疫を持っていない人が感染すると１００％発病すると言われています。感染した後10日～12日間の無症状の期間（潜伏期）を経て、熱・咳・鼻水などの風邪のような症状が出ます。数日すると首筋・顔から赤い発しんが出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。重症化すると肺炎や中耳炎などを合併することもあり、千人に一人の割合で脳炎が発症すると言われています。麻しんの感染を予防するには、予防接種を受けることが最も効果的です。（生涯で２回受けるのが効果的です）

◎予防接種はお済みですか？

今年度の予防接種対象者は以下の１期から４期の人です。

○第１期：生後１歳～２歳未満
○第２期：来年小学校入学児童
○第３期：平成７年４月２日～平成８年４月１日生まれ
○第４期：平成２年４月２日～平成３年４月１日生まれ

麻しんの流行期は４月～６月と言われています。第２期以降の人はできるだけ早い時期、遅くとも夏休み終了までには接種を済ませましょう。

◎お問い合わせ

対象者の方には通知をしています。まだ書類が届いていない方や詳しいことをお聞きになりたい方は**役場保健師**までご連絡ください。

お問い合わせ　健康医療グループ　健康推進担当　☎７６－２１５１　内線２３１

温故知新

【362】

いつまでも瀬里奈のママ

松藤淑子　さん

まつふじ　よしこ　さん／昭和8年生まれ／夫 東湖さんと２人暮らし／75歳／豊永在住

神戸のまちで育ったという松藤さん。焼夷弾による爆撃など悲惨な戦争体験をしていて「当時の事は決して忘れられない」という。

ご主人の東湖さんとは京都の大学時代に出会い、その頃の思い出を尋ねると、「2人で旅行をした時に、車が崖下に落ちて大怪我をしたことがあり、そこで私は1回死にました」と冗談を交えて笑う。

卒業後は「手触りのある仕事に就きたい」との思いで上京し、当時ブティックの先がけであるアパレル産業でファッション関係の仕入れや商品企画など全般を任されることに。「とてもやり甲斐があって面白かったですよ」と当時を振り返り目を輝かせる。そこで10年ほど仕事を続けるが、京都時代からの約束を果たすため、一大決心をしてご主人の待つ津別へ。しかし、今までと１８０度違う環境の中、悩んだ日々もあったという。

いつか静かな雰囲気でお喋りしながら食事ができるお店を開きたいと思うようになり、京都や鎌倉の料理屋などで食べ歩いては独学で料理や盛付けを学んだご主人とともに、昭和59年に和食処「瀬里奈」を開く。

開店当初は思うように客足が伸びず、半年ほどしてから女性のお客様が徐々に増えていったという。「多くのお客様に来ていただき、その時のお話や、お店が雑誌に紹介されたことが良い思い出です」と嬉しそうに語ってくれた。

店を続ける中で、腰の圧迫骨折や乳がんとも闘い「これで3回死にかけました」とまた大笑い。お店は続けたいが体がついて行かないと、2年前の秋に22年間掛けてきたのれんを下すこととなった。

「主人とは最初から最後まで友だち感覚です」と微笑む。

最近は、知人から誘われた短歌の会で自然と触れ合いながら歌を詠むことが楽しみだそう。今でも周りからは「瀬里奈のママ」と呼ばれている。

暮らしを支える 税

町税の納付は口座振替制度のご利用を

町の税金は、北見信金津別支店（役場派出所、本店及び各支店）、網走信金津別支店、津別農協、北洋銀行美幌支店、北海道内全てのゆうちょ銀行（郵便局）で納付することができます。

『日中は仕事等で金融機関に行くことができない』、『納付を忘れてしまう』等の方は、口座振替制度のご利用をお勧めします。この制度を利用すれば金融機関の預金口座から振替によって納税することができますから、金融機関に行く手数が少なく、また、納付を忘れてしまうこともなく大変便利です。

手続きは、口座振替をする口座の印鑑、預金通帳と納税通知書を持参して町内の各金融機関で手続きをして下さい。振替口座の変更がなければ毎年手続きをする必要はありません。

なお、口座振替の手続きをされた日によっては、直後の納期限に間に合わない場合がありますので、手続きの際には金融機関にご確認をお願いします。

６月は町道民税、国民健康保険税第一期分の納付月です。納期限は、６月30日です。

お問い合わせ　☎76－2151 税務担当（内線 220・221）
収納担当（内線218）